

総代のみなさまへ

第 42 期総代の任期は 2025 年 6 月 11 日～2026 年 6 月 10 日です

第 42 期 第 6 号 12 月 8 日



生協ひろしま 理事会

気づけばもう師走ですね。急に寒さが身にしみてきました。インフルエンザなども流行していますが、暖かくして乗り切りましょう。

年末年始の準備にも、ぜひ生協ひろしまのご利用をよろしくお願いします。どうぞ良いお年をお迎えください。



11月21日開催 第7回理事会の報告

理事長挨拶

第 42 期総代懇談会の開催にあたり、ご参加いただいた総代さん、並びに運営にご協力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

今回より、報告資料および映像をリニューアルして開催しました。分散会では多くの総代さんから貴重なご意見やご感想をいただきましたので、今後の運営改善に向けて活かしていきます。

また、11 月下旬より能登半島地震の被災地支援として、「広島お好み焼き隊」による支援活動を実施します。引き続き、地域社会に貢献する取り組みをすすめていきます。

<議決事項>

第 1 号議案 任意積立「地域つながり応援積立金（仮称）」の新設について

任意積立「地域つながり応援積立金（仮称）」の新設について、承認されました。

生協ひろしまでは、23 市町との包括的連携協定、良品計画や JA グループとの包括的連携協定の締結など、行政や他団体と連携し、地域課題の解決に向け、事業や活動の両面から取り組むことを「2030 ビジョン」に掲げています。

安定的かつ継続的な地域貢献活動の実現をめざし新たな財源確保として、年度末に確定する失効ポイントを原資とした任意積立金「地域つながり応援積立金（仮称）」を新設し、地域の諸団体や企業と協力して組合員のくらしに貢献する取り組みに活用します。

<活用の基本的な考え方>

- ①生協が主体となり、組合員のくらし貢献につながる取り組みに活用します。
- ②23 市町や地域の諸団体（NPO、自治会、JA など）また他企業と連携しておこなう地域貢献事業に活用します。

<任意積立金「地域つながり応援積立金（仮称）」新設の流れ>

- ①2026 年度以降の活動の財源として、第 42 回通常総代会の剰余金処分案において、任意積立金『地域つながり応援積立金（仮称）』を提案します。
- ②積立金は、2025 年度末に確定する失効ポイントの一部を充て、1,000 万円（予定）の積立てとします。
- ③2026 年度以降は、年度毎に活用した額を補填する形で積立て、当面は 1,000 万円を上限として積立てます。

(参考資料①)

※2025 年度では、JA グループとの取り組み「協働の米づくり」において、収穫したお米の全量（1,800 kg）を JA 全農ひろしまから購入（約 100 万円）し、こども食堂に提供しました。

※2026 年度では、三原市高坂町の農地を約 3 倍拡大と、新たに安芸高田市での「協働の米づくり」を計画しており、JA 全農ひろしまから約 400 万円の購入を予定しています。

(参考資料②)

「生協ひろしまポイント制度について」

ポイント制度は貯める楽しさとお得に利用する楽しさを目的に 2018 年から経費を原資として開始しました。宅配事業では 2023 年度に 100 ポイント単位から 1 ポイント単位で変更し、店舗事業では 500 ポイント貯まると 500 円券として発行しています。

また、生協ひろしまポイントの有効期限は最大 2 年間としています。有効期限なしとした場合、使われないポイントが毎年貯まり、莫大な金額になります。ポイントは付与した時点で経費として計上するため、何年も使われていないものを経費として計上することは認められない恐れがあります。税務上の所得金額（税金を計算するための利益額）が増え、納税額が大幅に増えるリスクがあるため、有効期限は最大 2 年間としています。

失効ポイントの特徴としては、約 6 割の方が 100 ポイント未満で失効しています。今後も年度末のポイント失効についてのお知らせは「商品お届け表兼請求書」への記載、ホームページやコープアプリ、また各事業部からの発信を工夫しながら、情報提供をおこないます。

<報告事項>

第 2 号議案 10 月度組織・事業状況及び決算報告

1. 10 月度決算・事業状況

2025年10月度		損益計算書 (単月)					2025/11/6			
予算:42期予算										
単位:千円										
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明
A	宅配事業	3,421,926	3,400,856	3,404,084	99.4%	-21,070	99.9%	-3,227		宅配利用金額
B	店舗事業	767,868	803,352	775,790	104.6%	35,484	103.6%	27,562		店舗利用金額
C	供給高(利用高)	4,189,794	4,204,208	4,179,874	100.3%	14,414	100.6%	24,335	(A+B)	宅配・店舗利用金額
D	供給原価	3,129,719	3,146,804	3,121,317	100.5%	17,085	100.8%	25,487		商品の販売費用
E	供給剰余金	1,060,075	1,057,404	1,058,557	99.7%	-2,671	99.9%	-1,152	(C-D)	商品販売の利益
F	電力供給高	56,109	48,093	49,675	85.7%	-8,016	96.8%	-1,583		電力事業の収入
G	電力供給原価	48,437	54,893	60,414	113.3%	6,456	90.9%	-5,521		電力事業の仕入高
H	電力供給剰余金	7,672	-6,800	-10,738	-88.6%	-14,472	136.7%	3,938	(F-G)	電力事業の利益
I	福祉事業収入	123,787	126,412	122,402	102.1%	2,625	103.3%	4,009		福祉事業の収入
J	福祉事業費用	111,875	114,786	110,600	102.6%	2,911	103.8%	4,186		福祉事業の費用
K	福祉剰余金	11,912	11,626	11,802	97.6%	-286	98.5%	-177	(I-J)	福祉事業の利益
L	共済受託手数料	61,681	61,913	61,497	100.4%	232	100.7%	416		共済受託手数料収入
M	受取手数料	66,876	68,002	66,816	101.7%	1,126	101.8%	1,186		受取手数料収入
N	その他事業収入	128,557	129,916	128,313	101.1%	1,359	101.2%	1,603	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入
O	事業総剰余金	1,208,216	1,192,146	1,187,934	98.7%	-16,070	100.4%	4,212	(E+H+K+N)	事業活動からの利益
P	人件費計	578,516	594,586	559,787	102.8%	16,070	106.2%	34,799		職員給与など
Q	物件費計	608,671	587,937	539,692	96.6%	-20,734	108.9%	48,245		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など
R	事業経費	1,187,187	1,182,523	1,099,479	99.6%	-4,664	107.6%	83,044	(P+Q)	事業活動からの経費
S	事業剰余金	21,029	9,622	88,455	45.8%	-11,407	10.9%	-78,832	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益
T	事業外収益	19,544	23,740	27,212	121.5%	4,196	87.2%	-3,472		財務活動からの利益(家賃収入など)
U	事業外費用	297	26,379	360	8881.8%	26,082	7320.5%	26,019		財務活動からの費用(支払利息など)
V	経常剰余金	40,276	6,984	115,307	17.3%	-33,292	6.1%	-108,323	(S+T-U)	事業全体で得た利益

(参考資料)

宅配事業（利用人数・実利用金額）、店舗事業（来店客数・客単価）は以下となります。

宅配事業(10月1回企画～10月5回企画)								店舗事業(2025年10月度)				
宅配事業	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	店舗事業	本年実績	前年実績	前年差	前年比
利用人数(名)	742,370	734,431	734,837	98.9%	-7,939	99.9%	-406	来店客数(名)	336,866	337,895	-1,029	99.7%
実利用金額(円/人)	4,922	4,950	4,929	100.6%	28	100.4%	20	客単価(円/人)	2,385	2,296	89	103.9%

＜2025 年 10 月度 損益計算書（単月）の主なポイントについて＞

10 月単月の供給高は、A 宅配事業では利用人数の予算割れの影響が大きく、供給高が予算を下回りました。

一方、B 店舗事業では客単価が伸び、供給高は予算を達成しました。

収入面は、N その他事業収入が予算比 101.1%（予算差＋135 万円）と好調に推移したものの、E 供給剰余金が予算比 99.7%（予算差－267 万円）、H 電力供給剰余金が予算比-88.6%（予算差-1,447 万円）、K 福祉剰余金が予算比 97.6%（予算差－28 万円）といずれも予算を下回りました。その結果、O 事業総剰余金は予算比 98.7%（予算差－1,607 万円）となり、全体として予算を下回る結果となりました。

次に支出面では、Q 物件費計が予算比 96.6%（予算差－2,073 万円）と予算内で執行された一方、P 人件費計は予算比 102.8%（予算差＋1,607 万円）と予算を上回りました。R 事業経費は予算比 99.6%（予算差－466 万円）で予算内に収まりましたが、人件費の超過により、S 事業剰余金は予算比 45.8%（予算差－1,140 万円）となり、8 月以降 3 か月連続での悪化となりました。

事業外損益については、T 事業外収益が予算比 121.5%（予算差＋419 万円）と好調であった一方、U 事業外費用は予算比 8,881.8%（予算差＋2,608 万円）と大幅に増加しました。この結果、10 月単月の V 経常剰余金は予算比 17.3%（予算差－3,329 万円）と大幅な予算未達成での着地となりました。

2025 年 4 月～2025 年 10 月の累計実績は以下となります。

2025年4年度～2025年10月度				損益計算書			(累計)		2025/11/6		
予算:42期予算											
単位:千円											
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明	
A	宅配事業	23,441,569	23,462,674	23,237,802	100.1%	21,105	101.0%	224,872		宅配利用金額	
B	店舗事業	5,451,046	5,601,975	5,329,904	102.8%	150,929	105.1%	272,071		店舗利用金額	
C	供給高(利用高)	28,892,615	29,064,649	28,567,705	100.6%	172,034	101.7%	496,943	(A+B)	宅配・店舗利用金額	
D	供給原価	21,588,120	21,766,157	21,412,531	100.8%	178,037	101.7%	353,626		商品の販売費用	
E	供給剰余金	7,304,495	7,298,491	7,155,174	99.9%	-6,004	102.0%	143,317	(C-D)	商品販売の利益	
F	電力供給高	406,076	402,664	394,561	99.2%	-3,412	102.1%	8,102		電力事業の収入	
G	電力供給原価	391,547	408,295	399,984	104.3%	16,748	102.1%	8,311		電力事業の仕入高	
H	電力供給剰余金	14,529	-5,631	-5,423	-38.8%	-20,160	96.2%	-208	(F-G)	電力事業の利益	
I	福祉事業収入	844,073	863,849	836,622	102.3%	19,776	103.3%	27,227		福祉事業の収入	
J	福祉事業費用	773,426	779,840	774,413	100.8%	6,414	100.7%	5,426		福祉事業の費用	
K	福祉剰余金	70,647	84,009	62,208	118.9%	13,362	135.0%	21,801	(I-J)	福祉事業の利益	
L	共済受託手数料	433,879	434,314	432,586	100.1%	435	100.4%	1,728		共済受託手数料収入	
M	受取手数料	477,376	493,766	463,290	103.4%	16,390	106.6%	30,475		受取手数料収入	
N	その他事業収入	911,255	928,080	895,876	101.8%	16,825	103.6%	32,204	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入	
O	事業総剰余金	8,300,926	8,304,949	8,107,836	100.0%	4,023	102.4%	197,113	(E+H+K+N)	事業活動からの利益	
P	人件費計	4,019,727	4,112,909	3,937,586	102.3%	93,182	104.5%	175,323		職員給与など	
Q	物件費計	4,106,509	4,048,981	3,814,689	98.6%	-57,528	106.1%	234,292		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など	
R	事業経費	8,126,236	8,161,890	7,752,275	100.4%	35,654	105.3%	409,615	(P+Q)	事業活動からの経費	
S	事業剰余金	174,690	143,059	355,561	81.9%	-31,631	40.2%	-212,502	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益	
T	事業外収益	142,098	173,290	186,032	122.0%	31,192	93.2%	-12,742		財務活動からの利益(家賃収入など)	
U	事業外費用	2,217	28,763	2,303	1297.4%	26,546	1248.9%	26,460		財務活動からの費用(支払利息など)	
V	経常剰余金	314,571	287,586	539,290	91.4%	-26,985	53.3%	-251,704	(S+T-U)	事業全体で得た利益	

第 3 号議案 10 月度一般活動報告について

1. 内部統制・グループ会社報告

10 月度の内部統制（法令遵守事項、商品お申し出、車両事故、労働災害、各種事故、ヘルプライン、残業など）、グループ会社（コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド）の事業内容について報告、確認しました。

2. COOP-FACE 商品「抹茶入り緑茶 100g」価格変更について

製造委託先より、抹茶の需要増加、原料高騰、光熱費・人件費等の上昇に伴い、価格改定の申し入れがありました。検討した結果、やむを得ないものと判断し、納入価格と本体価格の変更について確認しました。

抹茶需要の増加に伴い、原料である碾茶の価格が高騰しています。茶農家による転作の増加で抹茶の増産が期待されましたが、今夏の猛暑により収穫量が前年比約 60%と大幅に減少し、碾茶の仕入平均価格は 2～2.5 倍に上昇しました。また、緑茶原料全般も価格が例年の 1.5～2 倍となり、光熱費や人件費の高騰も重なり現在の条件・価格での供給が困難な状況となりました。廃番も検討しましたが、原料茶葉の生産者を指定し、そこで栽培された生産履歴の明確な茶葉を吟味して使用していること、年間安定した品質を保っていることや嗜好品でもあることなどから供給継続していきます。

	現行		変更後	
	本体価格	税込価格	本体価格	税込価格
宅配・店舗	478 円	516 円	838 円	905 円

変更時期は、宅配は 2026 年 1 月 2 回企画～、店舗は 2026 年 1 月 4 日納品分～から予定しています。

3. COOP-FACE 商品「緑豆もやし 200 g」 価格変更・原料産地変更について

製造委託先より、各コストの上昇に伴い価格の維持が困難であるため、価格改定と緑豆もやしの原料種子の変更に伴う包材表示変更の申し入れがありました。

価格変更は、円安によるエネルギー・原料・物流・資材・人件費などの高騰により企業努力では吸収が困難になったこと、原料種子の変更に伴う包材表示変更は、緑豆種子を中国産に限定すると安定調達が難しくなるため、複数産地（ミャンマー・マダガスカル・タイ・インド・中国が主産地）から仕入れられるよう表示を見直したることによるものです。

生産工程上、使用する水や温度管理方法に変更はありませんので、種子の変更に伴う品質、食味などへの影響はありません。

	現行		変更後	
	本体価格	税込価格	本体価格	税込価格
宅配	48 円	51 円	48 円	51 円
店舗	45 円	48 円	48 円	51 円

包材表示の変更に関しては、「もやしの種子」欄が『緑豆（中国）産』から『緑豆』に変更され、現行の包材を使い切った段階から変更していきます

変更時期は、宅配は 2026 年 1 月 1 回企画～、店舗は 2026 年 2 月 1 日納品分～から予定しています。
(宅配は納入価格のみ変更となります)

4. 第 42 期総代懇談会出席状況について（速報値）

2025 年度上期を振り返り、下期に向けた取り組みを確認する「第 42 期総代懇談会」を、11 月 5 日～17 日にかけて 8 地区 11 会場で開催しました。

出席状況は、総代人数 537 名に対し、出席人数 373 名で、出席率は 69.5%でした。参加者アンケート、分散会での声について集約をおこない、集約後、総代のみなさんにお返ししていきます。

【文書報告】

1. コープ商品の改廃情報（2025 年 12 月～2026 年 2 月）として、43 品目が報告されました。
2. 組合員活動報告、地域連携活動報告、各会議議事録が報告されました。

インフォメーション

★第 42 期総代懇談会にご出席いただきありがとうございました。

多くの総代のみなさまにご出席いただき、映像や組合員同士の交流を通して、生協ひろしまのことをより深く知っていただけたのではないかと思います。たくさんの貴重なご意見やご感想をいただきありがとうございました。今後の活動や取り組みに活かしていきます。



★生協ひろしま×RCC（中国放送）コラボ動画 11 月 1 日（土）より放送中！

「地域とのつながり」をテーマに、RCC の人気キャラクター・レモンチと生協ひろしまのコッピー、そして組合員や職員がいっしょにレモンチダンスを踊りました🎵 県内各地の街やさまざまな事業所で笑顔があふれ、みんなでつながる穏やかな映像に仕上がっています。ぜひご覧ください。

〈放映期間〉令和 7 年 11 月 1 日～令和 8 年 4 月 25 日

テレビ放送 — 毎週土曜日 18 時 55 分(RCC お天気情報内)ショートバージョンです。

YouTube — フルバージョンでストーリー仕立てとなっています。

▼レモンチダンス動画

二次元コード



第 43 期総代募集について

第 42 期総代の任期は 2026 年 6 月 10 日までとなります。継続を希望される方はあらためて申し込みをお願いします。

ワクワク通信 2 月号（2 月 2 日～配布）にて第 43 期総代募集のお知らせを掲載する予定です。

